

進学先について理解しよう！

3年生運動部のみなさん！最後の大会おつかれ様でした。悔いなく全力を出し切って来れたでしょうか？どんな結果であろうとも、**3年間でがんばってきた経験**は何にも代えられない貴重な経験です。

大会を終えた運動部のみなさんは引退となり、**進路実現のための新たな目標**に向かって進み出します。実は**スポーツをやっていた人たちはこの時期に成績が伸びやすい**と言われています。休日に練習や大会があり、なかなか勉強する時間がとれない中で、**効率よく学習する力**が身に付いているので、引退後の時間を有効に使うことができるという訳です。しかしながら、**何もしないと伸びもしない！**早めに受験生モードに切り替えていきましょう。

今回は、「上級学校とは？」をしっかりと考え理解を深めていってほしいと思います。進路集会でも説明しましたが、ここでもう一度しっかりと理解をしておいてください。

主な上級学校について

◎高等学校

○学校の創立者

国立	国が設置している学校。国立大学の付属高校がその大部分をしめているが、その大学に優先入学できる特典はない。通学時間に制限を設けている学校もある
公立（県・市）	県や市が設置する学校。埼玉県内の公立高校であれば受験制限はない。
私立	民間の学校法人が設立している学校。独自の教育理念に基づき特色ある教育が行われている。学費の面でも学校差があり公立に比べて高めである。私立であれば県内に限らずどの地域の学校でも受験できる。 ※埼玉県私立高校父母負担軽減事業制度については、後日3年生に通知予定。

○課程

全日制	一般的に昼間に学習する学校。通常は3年で卒業できる。
定時制	もともと昼間に働く人のために設置された課程。おもに夜間に学習する。夜間では授業時間が1日4時間程度となるため卒業するのに通常4年かかる。
通信制	通信によって高校教育を受けることができる。学習は自宅での勉強が主となる。学習の結果（レポート）を学校に送り、先生の指導、評価を受ける。月1～3回程度登校して直接先生の指導（スクーリング）を受けることができる。卒業に必要な単位数を取得すれば最短3年で卒業できる。
単位制	一般的には学年ごとに修得しなければならない単位が決められている。これに対して「単位制」の学校では、学年の枠が無く、3年間で決められた単位を修得すれば卒業が認められる。選択科目が多く自分の進路、興味、関心に応じた自分独自の時間割を組むことができるのが特色である。

◎工業高等専門学校（高専）

5年制の学校である。主に工業の分野を専門的に学び、卒業後は大学卒業程度の技術と知識を修得することができる。さらに学びたい人のために、多くの大学が3年次への編入制度を設けている。

◎専修学校

社会で役立つ専門的な知識や技術を学べる学校である。中学卒業後に進学できる高等課程は高等専修学校と呼ばれ、その3年制の課程のほとんどは、卒業すれば高等学校卒業と同等の資格が得られる。（各校の情報をきちんと確認する必要があります。）

3年生へ 第1回進路希望調査は6/2(月)✕